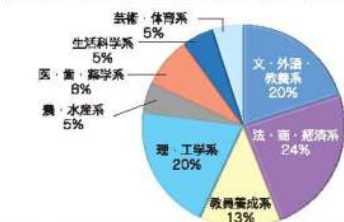


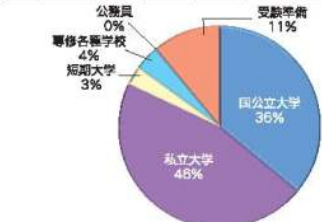
進学情報

今回は、昨年度までの結果をのせています。今年度平成十九年度分は会報第二号に掲載します。

学部学科	進学先	人数
文・外語	国公立	57
法・商・経済系	国公立	70
理・工学系	国公立	37
農・水産系	国公立	58
医・歯・薬学系	国公立	15
芸術系	国公立	24
体育系	国公立	14
看護系	国公立	13



進路	人数
国公立	128
私立大学	160
短期大学	11
専修学校	13
公務員	1
受験準備	40
大学校	0



平成10~19年度入試 合格者数(過年度卒を含む)

入試年度	国公立大学	私立大学	短期大学	専門学校
平成10年	178	619	97	10
平成11年	202	685	65	22
平成12年	184	684	46	35
平成13年	183	540	36	39
平成14年	210	738	26	37
平成15年	169	745	17	43
平成16年	212	880	24	35
平成17年	181	802	43	45
平成18年	176	763	43	31
平成19年	165	788	46	30

平成19年度入試合格者数

地区	大学名	合格者数
中部地区	愛知 知教	24
	愛知 豊橋 技術科	3
	愛知 名古屋 古	11
	愛知 名古屋 古	9
	愛知 名古屋 古	6
	愛知 名古屋 古	6
	愛知 名古屋 古	23
	愛知 名古屋 古	7
	愛知 名古屋 古	8
	愛知 名古屋 古	1
	愛知 名古屋 古	8
	愛知 名古屋 古	4
甲信越	福山 信	3
	福山 信	6
	福山 信	1
	福山 信	1

地区	大学名	合格者数
西日本	滋賀 滋賀	6
	京都 京都	1
	大阪 大阪	1
	大阪 大阪	1
	大阪 大阪	1
	奈良 奈良	1
	和歌山 和歌山	1
	山口 山口	1
	徳島 徳島	1
	長門 長門	1
	京都市 京都市	1
	京都市 京都市	1
	京都市 京都市	1
	京都市 京都市	1
	京都市 京都市	1
京都市 京都市	1	

100周年にむけて

昨年六月に教育実習を受けた同窓生の方々から、「100周年を迎えた母校にメッセージをいただきました。どのメッセージにも「北高への感謝」と今後の発展を願う気持ち」が結まっています。その一部を抜粋して以下に紹介しています。「100年の長い歴史の中に私のようなことを誇りに思っています。」のひびきを感じた校風と、広々と育ちたいという気持ちで、これからの北高に変わります。」広い校舎と豊かな自然の中で勉学やスポーツに励んだおかげで今の自分があります。「北高での思い出は私の一生の宝庫です。」



主な関東私立大

青山学院	3
山梨学院	2
学習院	2
慶応義塾	3
関西学院	4
同志社	4
成成	2
専修	5
中央	10
中津	3
日本文学	10
東京理科大学	8
東京女子	1
東洋	7
日法	12
明治	7
立教	7
早稲田	9

主な中部・関西私立大

南山	77
名城	66
愛知	144
中央	56
同志社	13
立命館	61
関西	10
近畿	4
関西学院	4

国公立大合計	165
私立大合計	788
短期大合計	46
専門学校合計	30

広告掲載欄

部 活 動

15年連続全国大会出場



吹 奏 楽 部

32年連続中部・東海大会出場



卓 球 部

23年連続中部本大会優秀賞



吹 奏 楽 部

4女子やり投げ東海大会出場



陸上競技部

今回掲載している内容は、平成十九年一月〜十月までの成績です。次回第2号では、平成十九年度の十一月〜平成二十年六月分を掲載する予定です。

全国大会

放送部
・NHK杯全国高校放送コンテストビデオドキュメント部門 出場

・全国高等学校総合文化祭オナウンス部門出場

中部大会

・中部日本卓球選手権大会
・第47回東海卓球選手権大会 出場

卓球部

・全日本アンソナルコンテスト東海大会
・クラリネット八重奏 出場

吹奏楽部

・第19回管楽器個人・重奏コンテスト中部本大会 打楽器八重奏
・優秀賞(5位)
・金管八重奏
・優秀賞(6位)
・クラリネット八重奏
・サキソフォニック 優秀賞
・全日本吹奏楽コンクール(大瀬成の部) 銀賞

陸上部

・東海高等学校新人体育大会槍投げ 出場
・入賞
・陸上部・高等学校新人体育大会・県大会 2位

卓球部

・愛知県高等学校卓球リーグ(女子)部 2位

吹奏楽部

・全日本アンソナルコンテスト愛知県大会 打楽器八重奏・クラリネット八重奏・金管八重奏 金賞
・第19回管楽器個人・重奏コンテスト

・愛知県大会 打楽器八重奏・クラリネット八重奏・金管八重奏 優秀賞
・中部日本吹奏楽コンクール愛知県大会 優秀賞(4位)
・全日本吹奏楽コンクール愛知県大会 金賞(5位)
・全日本吹奏楽コンクール愛知県代表選考会 金賞(4位)

放送部

・愛知県高校放送コンテスト・ジュニア大会朗読部門 顧問賞
・NHK杯全国高校放送コンテスト愛知県大会 テレビデオドキュメント部門 優良賞、アナウンス部門 入選
・愛知県高等学校総合文化祭放送部門 県大会 ビデオメッセージ部門 優良賞(4位)

県大会出場

・男子バレーボール部
・女子バレーボール部
・サッカー部
・野球部
・男子バスケットボール部
・女子バスケットボール部
・陸上部
・男子ソフトテニス部
・女子ソフトテニス部
・男子卓球部
・女子卓球部
・水泳部
・弓道
・演劇部

ビデオ・ピアノコンペティション

・中部日本テオ地区本選 デュオ部門 連弾中級 入選

その他現在活動中の部活動

運動部 ソフトボール、女子バスケットボール、男女ハンドボール部、柔道部、剣道部
文化部 文芸、サイエンス、音楽、書道、美術、華道、調理・手芸、囲碁・将棋、英語、写真、JRC、園芸、スクール

広告掲載欄

スポーツライイト(1)

高等女学校 (一)

北高会副会長の神取鈴枝さんに、自らの人生を振り返っていただいた文章を寄稿していただきました。

私の人生

高女36回卒 神取鈴枝

三従の道

幼にして父に従い、嫁しては夫に従い、老いては子に従うという三従の道が女性の美德として学ん



だ。しかし、一九四五年にその政策は一変し、男女七才にして席を同じくせずの学舎は共学となり、女性の権利も認められ、男女平等の世の中へと変革した。

子育てを終え自分を見つめる余裕のできた私は、生活の中に自身の生き方が無かったことに気が付き、「六十才の今、このままで人生を終わって後悔しないか」という疑問を抱いた。折角授かった命、生まれて良かったと感謝できる人生でありたい。芽生えた思いに五里霧中の苦悩の日々が続いた。



『主婦定年』宣言

一九九〇年、家族全員を前に意を決して、「自分らしい生き方をしたい。」と『主婦定年』宣言をした。

夫の友人を通して、日本シルバードランティアに登録して間もなく、中国上海市の幹部訓練センターから日本語教師の依頼があった。教師経験は無かったが、しまい込んでいた免許状を取り出して、

単身赴任の第一歩を踏み出した。

これがきっかけとなり、一九九三年九月、上海同済大学外語学部の新設される日本語専任講師着任を要請された。翌年は所要のため、留任の話を断った。しかし、一九九六年に、教子(二回生)

の卒業前に再び講師の話があった。一年間赴任して、自分の中に隠れていた教師としての適性に気づいたのもこのころであった。その後内戦中のスリランカ・ピタコッテにある戦争孤児ホーム

(三百人ほど収容)に派遣され、大学生とは異なる年令層に日本語を教えた。親を失った子どもたちには少しも暗い部分は見られなかった。

終わりに

大学生のひたむきな瞳と子供たちの健気に生きる大きな瞳を前にして教えた経験は、素晴らしい充実感を私に残し、現在も私の心を潤してくれている。



広告掲載欄

スポットライト(2)

北 高 (一)

現在、染織家として活躍されている北高10回生の小林敬子さん宅を訪れ、現在の活動や今後の制作方針についてお話を伺いました。

自然へのこだわり

「この色がなかなか出せないんですよ。」と鮮やかな紫色の着物の端布を指差して話し始めた小林さんは、*注 日本伝統工芸展本展に今年で十五回目の入選を果たされた正真正銘の染織作家です。「化学染料を使ってもこの色は出せるんですが、私はこれを使っているんです。」と見せていただいたものは、くちなし、どんぐりなど庭にあるものや自然界にあるものばかり。(写真1・2参照)天然素材を染材に使った方が、色合いや制作への思いが作品ににじみ出てくる感じがするそうです。

(*注 文化財保護法に基づいて、厳重に鑑査された上で、入選作品



写真1: 日本伝統工芸展入選作絨織着物「矢車菊」



写真2: 材料

が決定されています。写真の材料には、輸入の染料も含まれていますし、京都・奈良・長野や近隣の額田や香

嵐溪の山々を散策された時に採取したものも含まれています。東京にいた頃の都会的な感覚や西洋織物の知識とその後身につけられた染織をはじめとした日本伝統工芸の技術が見事に融合されています。

和風の生活

「小さい頃から、和風の風景が生活に溶け込んでいましたね。祖父は、工芸三昧、祖母はいつも家族のために縫い物をしていましたので、自分が着物に興味を持ったのは自然な流れでしょうね。」と着物との出会いを話してくださいました。

「日本の民族衣装である『きもの』をすすんで纏う機会を求めてゆくことが、これからは大切ではないでしょうか。」と若い世代に提言もいただきました。

次の世代へ

「今まで『伝統工芸』という枠組みで保護していたいたいた感謝の気

持ちを、ここ岡崎の地で、作品を作り続けて、地域貢献する形でやっていきたいですね。」と今後の活動の指針も示してくださいました。それととも、次の世代や一般の方たちに染織の魅力を伝える努力も続けられています。平成十九年(二〇〇七年)の活動としては、「あいち子ども芸術大学」(小学生対象の藍染め体験)、「草木染絹糸



写真3: 子ども芸術大学

「草木を紡ぐ」(市民対象の講座)や岡崎美術展(公募展)、岡崎文化協会での活動が地元における代表的なものです。(写真3)。

今年入選を果たした小林さんの作品は、全国を巡回して、着実に染織ファンの層を広げています。今後は、美術的なセンスも取り入



写真4: 新傾向作品

れた着物以外の作品(写真4)にも挑戦しながら、「自然との調和・共存」をテーマに制作していきたいそうです。

広告掲載欄

百周年記念式典 平成19年11月10日



校長式辞 会長あいさつ 開会宣言 来賓祝辞 鈴木政二氏 功労者表彰 生徒代表宣言 記念演奏会にて高女校歌斉唱 閉会宣言 校歌斉唱

れです。平成十九年の今年に記念式典を迎えることに私たち北高十周年生は、不思議な責任感を感ずています。今年も母校生徒の卒業、部活での活躍をうかがいました。歴代校長、教師先生方のご苦労と在校生の努力が伝わってきました。

総会の始めは北高吹奏楽部五十名程による演奏。実に素晴らしい演奏でした。聞けば、中部地区大会銀賞

永年、会員の皆様には、千円という賞で長い間総会に参加していたら来てきました。しかし、諸般の事情より平成二十年度の総会より五〇〇円値上げさせていただきます。一、五〇〇円にさせていただきます。会員の皆様のご理解とご了承のほどよろしくお願いいたします。

なお、平成二十年度の総会日程準備日程が決まりましたので、お知らせします。総会は、平成二十年十月十四日(日)午後五時より甲山会館にて行ないます。

これに伴う準備の会議は、以下の予定で行う予定です。

- 1 総会常任委員会
- 平成二十年五月二十日(水) 午後七時
- 役員会
- 平成二十年六月二十七日(金) 午後六時半
- 理事会
- 平成二十年七月二十日(水) 午後六時

会報としては、商業文化会館集会所で行い、3の理事会は、市民会館集会所で行う予定です。特に、学年理事の方々には、お忙しい日程を調整していただきぜひ出席していただきますようお願いいたします。

とができません。以下のように協力を設定いたしましたので、ぜひご協力くださいますようお願いいたします。知り合いの会員の方へ会報購読を希望する方がいらしむれば、ぜひ事務局まで電話・ファックス・Eメールでお知らせください。一号の費用が五〇〇円です。以下のように設定いたします。

- ① 二年分 一、〇〇〇円
- ② 五年分 四、〇〇〇円
- ③ 十年分 八、〇〇〇円

2 同窓会会報広告掲載を希望される方へ事務局は、会報第二号以降の広告を募っています。

広告の大きさと協力は、次の通りです。

大きさは、一ページの四分の一のさらに四分の一が基本です。二マスは六、〇〇〇円(タテ5.6cm×ヨコ4.5cm)です。基本サイズは二倍、四倍の大ききも用意してありますので、お問い合わせください。協力は次の三ケースを用意しています。

- ① 二年分 三、〇〇〇円
- ② 五年分 六、〇〇〇円
- ③ 十年分 一〇、〇〇〇円

3 会報へのご意見ご感想は事務局へ

1 ページ同窓会報タイトル下にあります事務局までご感想等をお寄せください。また、緊密な内容は、内容にあわせて、下の担当にお問い合わせください。同窓会全般は松平、会報関係は酒井、総会関係は村田です。理事・役員の方は、一人ひとり多くの一般会員の方々が、会報購読や総会参加で絆を深めていただける日を心よりお待ちしております。

事務局より

今回、創刊号は、創立百周年記念事業に寄付または広告で協力していただいた方々に発送いたします。

1 同窓会報発行協力金のお願い

現在、同窓会の運営は、会員の皆さんが高校を卒業された時に出していたたいた費で運営しています。今回、会員の皆様とのつながりを強める会報は、皆様の経済面での支援がなければ継続することが

【お知らせ】

総会会費改訂と平成二十年総会日程について

懇親会は、参加費が千円(平成十九年度現在)です。きわめて安い。九月の初めの日曜日夕方五時から七時三十分。場所は甲山会館。毎年恒例の場所と時間です。あなたも、北高生の友達を誘って、いらしゃいませんか？

総会スナツプ

平成十九年度北高会総会は、北高創立百周年記念

19回生 杉田雅裕
私はこの日を祝うため、自分の学年の人に声をかけました。当日までにはなんとか格好の付く人数になりました。私は北高十九回生で、母校北高が県立高校になった昭和二十七年産生です



19回生 杉田雅裕